

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

白杵市長 西岡 隆

市町村名 (市町村コード)	白杵市 (44206)
地域名 (地域内農業集落名)	戸上地区 (黒坂、鍋田、御霊園、福原、長小野、平野、木所、黍野 牧原、波津久、生野、内河野、利野、於無礼)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月28日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化、後継者不在で担い手不足が心配される、10年後は農業者は半分くらいになるのでは
- ・若い人は地域から出て行ってしまふ、代替わりしたら農地に執着がなくなり耕作されなくなりそう
- ・草刈りができなくなってきている、岸があると手が出せない
- ・水田が減少してきている、米単価は安く、資材は高騰しており、悪循環になっている
- ・獣害対策が不十分。柵を設置したが囲いきれてなかったり、耕作をやめた農地にイノシシが侵入し、隣接農地が作れなくなっている。サルをどうやって防ぐか悩まされている。
- ・奥まった水田は堤の水漏れで耕作できないし、決壊の恐れもある
- ・水利のポンプは10年持たないかも知れない
- ・貸した農地を放置されたことがあり、第三者に貸すのは抵抗がある

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・集落営農により地域農業を守る、耕作できなくても維持管理はするよう努める
- ・人手不足対策のため、スマート農業の導入を検討する
- ・畑かんや基盤整備により借りやすい、耕作しやすいほ場を整える
- ・地区外からの耕作者（法人含む）の受入れの検討する
- ・ピーマン、甘藷の値が上がっているの、これらを作るにより儲かる農業につながれば担い手の増加が期待できる
- ・先輩の仕事を見て、熟練した技術を継承してゆく
- ・防護柵は必要だが、ほ場に合わせた形で囲い、効果的な設置の仕方を検討する
- ・荒廃農地の増加を食い止めるためにも、芋を作り続ける

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	195.22 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	195.22 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <p>法人や、地域外から等、幅広い担い手への農地集積を検討する。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <p>担い手の経営意向や、地権者の貸出意思を把握しながら、農地中間管理機構の活用を進める。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>担い手、地権者のニーズを踏まえ、農用地の大区画化・施設整備に向けた取り組みを検討する。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>地域内外からの経営体を呼び込むとともに、新規就農者の募集と育成を行っていく。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
<p>【選択した上記の取組方針】</p> <p>①防護柵を設置し、イノシシなどの被害を防止する。</p>				